

在来サヤインゲンの栽培特性

福島県農業総合センター 作物園芸部野菜科

1 部門名

野菜－サヤインゲン－品種、生理・生態

2 担当者

雨宮潤子・武藤健男・二階堂英行・加藤義明

3 要旨

中山間地における地域特産農産物開発のため、在来サヤインゲン栽培実態調査を行い、5種を確認、種子を収集した。これら在来サヤインゲンと県内で栽培されているサヤインゲン主要品種とを比較し、栽培特性を調査した。

(1) 喜多方在来2種(名称:いずれも「桧原ささぎ」)、山都在来1種(名称:「庄右衛門」)、棚倉在来1種、湖南在来1種(名称:「浜路ささぎ」)の計5種の在来サヤインゲンを確認した。

(2) 在来5種は、いずれも無限つる性、花色は淡赤紫～赤紫、莢には赤～赤紫の条斑があり、莢の横断面はやや扁平～扁平または楕円、莢の幅は中で「いちず」と「モロッコ」の間だった(表1)。

(3) 開花始期及び収穫始期は、「庄右衛門」と棚倉在来は対照品種より遅かったが、他の在来3種は同程度だった。収量は、「桧原ささぎ1」と「庄右衛門」は対照品種と同程度だったが、他の在来3種は少なかった。莢の食味は、いずれも対照品種と同等以上だった(表2)。

(4) 「庄右衛門」は、主枝摘心処理により花房数が増加する傾向がみられた(図1)。

表1 在来サヤインゲンの莢の形状(収穫始期調査)

名称・品種名	若莢地色	斑紋の色	斑紋の種類	莢のわん曲	莢のくびれ	莢の横断面(首部)	莢の横断面(中央)	莢の長さ	莢の幅	表面	筋の有無	くちばしの形	くちばしの長さ	一莢内粒数
桧原ささぎ1	緑	赤紫	条斑/多	直	あり	やや扁平	やや扁平	長	中	平滑	なし	軽く曲	中	多
桧原ささぎ2	緑	赤紫	条斑/多	直	あり	楕円	楕円	長	中	平滑	なし	軽く曲	中	多
庄右衛門	淡緑	赤	条斑/少	軽く	あり	扁平	扁平	長	中	中	なし	軽く曲	長	多
棚倉在来	淡緑	赤	条斑/少	軽く	あり	扁平	扁平	長	中	中	なし	軽く曲	長	多
浜路ささぎ	緑	赤紫	条斑/多	軽く	あり	楕円	楕円	長	中	平滑	なし	軽く曲	中	多
いちず(対照)	緑	なし	なし	軽く	あり	円	円	長	狭	平滑	なし	軽く曲	中	多
モロッコ(対照)	淡緑	なし	なし	軽く	あり	扁平	扁平	中	広	中	なし	直	短	多

表2 在来サヤインゲンの生態的特性、収量、食味

名称・品種名	開花始期	収穫始期	収量	莢の食味
桧原ささぎ1	+1日	0	100	中
桧原ささぎ2	0	0	46	中
庄右衛門	+3日	+7日	138	良
棚倉在来	+14日	+26日	85	中
浜路ささぎ	+1日	+2日	78	中～良
いちず(対照)	—	—	100	中
モロッコ(対照)	0	+3日	138	良

注)いずれも「いちず」を基準として表記

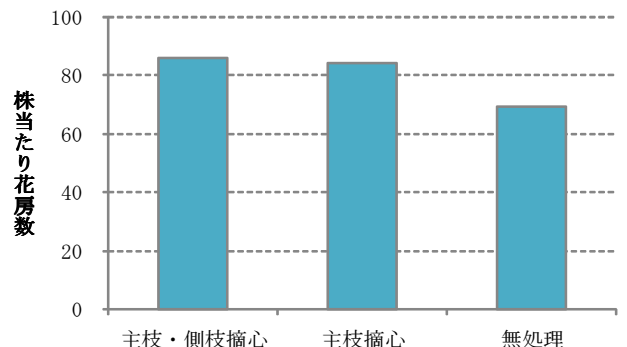


図1 「庄右衛門」の摘心処理が花房数に及ぼす影響

4 主な参考文献・資料

(1) 平成17～22年度福島県農業総合センター試験成績概要